スポーツ少年団活動中における緊急時の対応について (参考)

各単位団運営責任者の方は、下記(1)～(5)を参考に、競技・会場・運営上考え得る様々な緊急時への対策(※)を施して単位団運営に当たられ、活動参加者にも周知されますようお願いいたします。なお、緊急事態発生の際は、各関係機関や団体への連絡もお願いいたします。

(※) 緊急時への対策：

緊急時における対策本部および避難誘導係等の設置、緊急時マニュアル・連絡網の作成および共通理解、避難誘導経路の確認、危険箇所の把握など。

- (1) 天候が急変した際には、各単位団代表指導者を含む運営関係者が活動の続行が可能かどうか判断し、必要に応じて一時中断などの運営上の安全措置(屋内退避など)を速やかに行う。単位団運営関係者内で相談・検討の上、さらなる続行が難しい場合は中止を検討する。
- (2) 災害(地震、火災等)が発生した際には、各単位団代表指導者は速やかに対策本部を設置して対応に当たると共に、避難誘導係が速やかに参加者を安全な場所まで誘導する。
- (3) 不審者発見の際には、第一発見者は速やかに各単位団代表指導者に応援要請し、各単位団運営関係者は警察に連絡するなどの対応をとる。避難誘導係は避難誘導を行い、参加者の安全を確保する。
- (4) 不審物発見の際には、原則、不審物は動かさない。第一発見者は速やかに各単位団運営関係者に連絡し、各単位団運営関係者は警察に連絡するなどの対応をとる。避難誘導係は避難誘導を行い、参加者の安全を確保する。
- (5) 傷病者発生の際には、傷病者救助を最優先とし、各単位団代表指導者を中心に救急車の要請等、傷病者の容態に応じて判断・対応に当たる。